

## 令和元年度事業報告

5月1日から新年号「令和」に変わり新たな時代が始まりました。昨年同様、令和元年度は自然災害が多い年となり、10月に発生した台風15号では、千葉県周辺が土砂崩れや大規模停電等の被災に遭い、同月の台風19号では、岩手県から静岡県までの広い範囲で河川の氾濫により浸水等の被災がありました。1都13県で112ヶ所の災害ボランティアセンターが開設され、社会福祉協議会が行政及び関係機関と連携を図り、センターの運営を支援し、延べ196,740名※のボランティアの方々が各地で活躍されました。また、12月には中国湖北省武漢市で新型コロナウイルスが確認され、中国を中心に世界中で感染が広がりました。日本では、新型コロナウイルス感染拡大により、イベントの中止や企業のテレワーク、学校の休校、景気悪化等、国民の生活状況が著しく困難な状況に陥りました。

このような状況の中、本会として地域の中心的な役割と使命を認識しながら各事業を推進してまいりました。

本会では、災害ボランティアセンターを円滑に運営するため「災害ボランティアセンター運営マニュアル」の見直しを図りました。また、新庄市、公益社団法人新庄青年会議所、本会の三者で災害ボランティアセンター設置の協力体制について必要な事項を定め「新庄市における災害ボランティアセンターに関する協定」を取り交わしました。

また、新庄市と本会では、市民が主体となり、助け合い、支えあえる地域を目指す「地域福祉」を共に進めていくための「第3期新庄市地域福祉計画・第4期地域福祉活動計画」の策定の準備を進めており、今年度は計画づくりの一環としてアンケート調査を実施しました。

放課後児童健全育成事業では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から小学校が休校したことにより、職員の勤務形態が延長した中で、行政や保護者と連携を図りながら、検温やうがい、手洗いの徹底、消毒、定期的な換気等の予防対策を行ない、事業を運営しました。

もみの木訪問介護事業では、月例会や研修会等を開催し、介護員のスキルアップ向上を図り、高齢者や障がい者が安心して自立した在宅生活を営むことが出来るように事業を実施しました。昨年に引き続き、介護員の人材不足が大きな課題となっており、ハローワークや県福祉人材センター、本会の広報紙で求人の募集掲載をしました。

もみの木介護支援事業所では、要介護者等の心身の状況や置かれている環境、要介護者本人やその家族の希望等を勘案し、適切なケアプランを作成し、必要なサービスが円滑に提供されるように関係機関・多職種との連携を図り、住み慣れた地域で高齢者ができる限り自分らしい暮らしを続けることができるように支援しました。

地域包括支援センターは、高齢者等に関する相談を全て受け止め、解決に向けた助言や適切なサービスに繋げる支援を行ないました。多問題を抱える世帯等、専門的な支援が必要な場合は、権利擁護の対応等、関係機関と連携しました。介護予防事業では、要支援者等が主体的に介護予防に取り組めるようなマネジメントを提供しました。また、介護支援専門員の資質向上やネットワーク構築のための研修会の開催、困難事例への助言、地域ケア会議の開催を通して、地域課題の把握や行政への提言に取り組みました。さらに、認知症の地域支援、認知症に対する理解を深める取り組みやその家族への相談に対応し、医療機関と連携した支援を実施しました。

最後になりましたが、各種事業にご支援ご協力をいただきました関係各位に感謝申し上げ、令和元年度主要事業につきまして、次のとおりご報告いたします。

※全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター 2020年1月26日までの延ボランティア数参照  
山形県で災害ボランティアセンターを開設したのは川西町1ヶ所

## 【法人・地域福祉事業】

### 1. 役員会等運営事業

#### (1) 理事会の開催

◇第1回理事会	令和元年 6月6日(木)	出席理事 15名 出席監事 2名
◇第2回理事会	令和2年3月19日(木)	出席理事 15名 出席監事 2名

※新型コロナウイルス感染の拡大防止のため招集を中止し、書面決議を実施した。

#### (2) 評議員会の開催

◇第1回評議員会	令和元年 6月24日(月)	出席評議員 19名 出席監事 2名
◇第2回評議員会	令和2年 3月30日(月)	出席評議員 24名

※新型コロナウイルス感染の拡大防止のため招集を中止し、書面決議を実施した。

#### (3) 監査の開催

◇第1回監査	令和元年 5月17日(金)	出席監事 2名(平成30年度分)
◇第2回監査	令和元年11月25日(月)	出席監事 2名

#### (4) 委員会の開催

◇評議員選任・解任委員会	令和元年 6月 7日(金)	出席委員 5名
	令和2年 3月23日(月)	出席委員 5名
◇老人福祉センター運営委員会	令和元年 7月 1日(火)	出席委員 10名
◇歳末たすけあい配分委員会	令和元年12月11日(水)	出席委員 8名
◇新庄市善意銀行運営委員会	令和元年12月11日(水)	出席委員 8名
◇表彰選考委員会	令和2年 2月17日(月)	出席委員 5名

#### (5) その他

◇会計訪問指導	令和元年 5月10日(金)	高山税理士
	令和元年 9月20日(金)	高山税理士
	令和2年 1月22日(水)	高山税理士
◇生活福祉資金関係業務調査	令和元年10月16日(水)	県社会福祉協議会
◇指定障害福祉サービス 事業者実地指導	令和2年 2月 4日(火)	最上総合支庁
◇社会福祉法人指導監査	令和2年 3月13日(金)	新庄市成人福祉課
◇共同募金監査	令和元年 8月 6日(火)	県共同募金会

### 2. 事務局運営事業

関係機関及び団体との連携

#### ◇第69回 山形県・県民福祉大会

令和元年11月13日(水) 荘銀タクト鶴岡

メインテーマ「県民が互いに支え合い 生きがいを持って暮らせる健康安心社会の実現」

講演 「心のバリアをはずして」 中野佐世子 氏

#### ① 行政(新庄市)との連携

- ・事業運営に関し、所轄庁としての助言・指導をいただいた。
- ・社会福祉協議会事業の情報の共有に努め、市の広報紙等に掲載協力をいただいた。
- ・社会福祉協議会運営費、老人福祉センター運営費の補助をいただいた。
- ・地域包括支援センター運営事業、要介護認定調査、放課後児童健全育成事業(中央・日新・北辰・萩野)、地域活動組織育成支援事業、福祉バス運行管理事業、敬老会支

援事業を委託事業として実施した。

- ・福祉サービス利用援助事業、貸付事業等の制度・サービスの運営における要援護者の支援を連携して行なった。

## ②区長協議会との連携

- ・社会福祉協議会の協力員として、常に市民の先頭に立ち地域福祉・高齢福祉事業及び共同募金事業などの普及活動や啓蒙、広報紙の配布、会費・募金の徴収等幅広く協力をいただいた。

## ③民生委員児童委員協議会との連携

- ・社協の各種事業を進めるうえで、ニーズの把握や情報提供にご協力いただいた。
- ・生活福祉資金貸付事務事業では、低所得者世帯の更生を図るため、指導や意見、対象世帯の見守りを協力いただいた。
- ・歳末たすけあい募金の配分実施では、対象世帯の調査及び配布のご協力をいただいた。

## ④県社会福祉協議会との連携

- ・生活福祉資金貸付事業・福祉サービス利用援助事業を委託事業として実施した。
- ・社会福祉関連事業を進める上で指導、意見をいただいた。

## ⑤関係諸団体との連携

- ・各婦人会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、更生保護女性会やその他の関係諸団体と、共同募金活動、ワナゲ大会等、各事業において連携とご協力をいただいた。

### (事業効果等)

各機関、団体のご指導・ご協力により、円滑な社協事業の運営が図られた。

## ⑥地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向けた取り組み

第3期新庄市地域福祉計画、第4期新庄市地域福祉活動計画を策定するため、アンケート調査を実施し、検討会、推進委員会を開催した。

### ○アンケート調査

- ・調査対象：18歳以上の市民1,200人
- ・調査機関：令和元年12月1日から令和元年12月27日まで
- ・回収数：549件（回収率45.8%）

### ○検討会の開催

- ・日時：①令和元年 9月 9日（月）15時～17時15分  
②令和元年10月21日（月）10時～11時15分

### ○推進委員会の開催

- ・日時：①令和元年11月19日（火）10時～12時  
②令和2年 2月26日（木）14時～16時

### (事業効果等)

地域共生社会の実現に向けて計画的に福祉を推進できるよう地域住民・行政等と協働し、福祉課題等について共有することが出来た。令和2年度中に地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定することを目指し、その取り組みを推進していく。

## 3. 会 費

会費の納入に理解を求めるとともに、納入の便宜を図るため金融機関（新庄信用金庫・新庄市農協・もがみ中央農協）での振込を促進した。

また、6月下旬の5日間の期間、市役所内で行う各種会費等の集中受付に同席し、社協窓口を設け、納入の簡便化に努めた。

令和元年度実績額	前年度実績額	前年度比較	対前年比	振込利用件数
7,849,800円	7,913,900円	△64,100円	99.19%	11件

集中受付期間 6月24日～28日

期間中社協会費納付地区数 171町内

(課題等)

会費の納入率が低下傾向にあり、社協事業への理解・協力を求める為、ホームページによる情報提供や研修会等のイベント参加者に対して事業周知を行なうことを継続する。

#### 4. 実習生の受入れ

専門的な知識や実践力の高い人材の育成のため、将来の福祉を担う資格取得を目指す学生等の受入れを行なった。

(事務局)

##### 【社会福祉士相談援助実習】

社会福祉士国家資格の受験資格を取得する学生を対象に、社会福祉協議会が行う相談援助実践を通じて専門知識や援助技術が得られるように指導し、将来の福祉人材を育成した。

東北福祉大学学生1名

受入期間 令和元年

5月27日(月)～7月5日(金)

(介護支援事業所)

##### 【介護支援専門員実務研修実習】

実習生1名

受入期間 令和2年1月21日(火)

1月30日(木)

2月4日(火)

(地域包括支援センター)

##### 【社会福祉相談援助実習】

東北福祉大学学生1名

受入期間 令和元年

7月1日(月)～8月2日(金)

(事業効果等)

実習の受け入れを通して、専門的人材の育成が行なわれたとともに、実習担当者が業務を振り返ることで社協事業の専門性を再確認する良い機会となった。

#### 5. 職員研修

既に行なっている個々の専門職としての知識・技術を高めるための継続的な研修の他に、危機管理対策として職員研修を行なった。

○交通安全講習会

春の交通安全運動、運転者の基本ルール遵守徹底、横断歩道の交通ルール、事故を起こしてしまった場合の対応等を新庄警察署の職員を講師に迎え、「交通安全講習会」を開催した。

日 時：令和元年5月23日（木）13時15分～14時15分  
場 所：社協3階会議室  
参加人数：29名

○メンタルヘルス研修会

職場のコミュニケーションとメンタルヘルスについて、話す側・聞く側それぞれがお互いを尊重して率直に自己表現を行うためのコミュニケーション能力を学んだ。

日 時：令和元年11月29日（金）午前10時～11時  
場 所：社協3階会議室  
講 師：山形産業保健総合支援センター 菖浦 順子 氏  
参加人数：41名

## 6. 各種表彰該当者の推薦

### 第69回山形県・県民福祉大会

社会福祉の分野で顕著な功績があった方に対し、その功を称え山形県及び山形県社会福祉協議会から表彰状が贈られた。

令和元年11月13日（水） 荘銀タクト鶴岡

《山形県・県民福祉大会会長表彰》

（敬称略・順不同）

民生委員・児童委員功労者 庄司 光昭 武田 文子

町田 宏 中塚 悟

一般社会福祉事業関係功労者 八鍬 啓

社会福祉事業協助・奉仕者(団体) 新庄さくら歌謡愛好会

## 7. 福祉教育の推進

高齢者や児童との関わりを通して、青少年期に支え合い意識の向上を学ぶことを目的としている。

### 【施設体験】

①山形県教育委員会発行の「YYボランティアビューロー」を通じて、夏休み・冬休み期間等のボランティア体験を募集し、活動につなげた。

（日新放課後児童クラブ）

実施日 令和元年8月5日（月）

新庄南高校生徒 2名

令和元年8月8日（木）

神室産業高校生徒 3名

（中央学童保育所）

実施日 令和元年8月9日（金）

新庄北高校生徒 2名

②明倫中学校からのボランティア体験の相談を受け、施設と連携し、活動場所をコーディネートした。

（事業効果等）

生徒が、高齢者や児童等、支援が必要な方に対して、地域で支えあう大切さを学んだ。学校側からの協力依頼が増えたことから、今後の推進体制が構築された。

## 8. 福祉サービス利用援助事業（山形県社会福祉協議会委託事業）

判断能力の低下により、福祉サービス利用の手続きや金銭管理等が困難な方につき、手続き・支払等の代行支援を行なった。

最上管内利用件数 23件（前年度34件）内、新規契約締結件数 1件、解約件数 12件  
令和元年度相談件数 297件（前年度462件）

〈最上管内利用件数内訳〉

	新庄	大蔵
件数	23	0

（事業効果等）

福祉サービス等の利用援助やそれに伴う日常的な金銭管理を実施することで、利用者が安心して在宅生活を営むことが出来た。

## 9. 生活福祉資金貸付事業（山形県社会福祉協議会委託事業）

低所得者世帯等の経済的自立と教育支援を図るため、貸付を実施した。滞納者に対しては、償還指導、相談援助を行なった。

〈令和元年度貸付内訳〉

資金種類	件数	貸付金額
教育支援資金	2件	1,620,000円
緊急小口資金（特例貸付）	1件	100,000円
合計	3件	1,720,000円

（事業効果等）

低所得者を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることができた。

## 10. 地域活動組織育成支援事業（地域ふれあいサロン事業 市委託事業）

高齢者が住み慣れた地域で生き生きと過ごすことができるよう、閉じこもり予防や介護予防を目的とした「地域ふれあいサロン」の活動や運営、立ち上げを支援した。

◇サロン活動の実施状況

	開催地区	実施回数（回）	参加人数（名）
1	下金沢	9	131
2	金沢新町	24	208
3	柏木山	11	85
4	泉田	12	174
5	本合海	22	169
6	老人福祉センター	9	100
7	あたご	7	84
8	本宮一区	20	203
9	桜通り東	9	97
10	野際	11	116

11	八 向	1 5	1 2 8
12	西 町	1 1	5 4
13	千 門 町	2 7	2 8 1
14	松 枝	1 0	1 2 7
15	上 西 山	1 2	1 2 7
16	下 仲 町	9	7 6
17	若 葉 中 央	9	4 4
18	上 仲 町	9	3 9
19	吉 袋	1 2	2 5 5
20	鳥 越	2 4	2 2 0
21	栄 町	4 3	5 7 6
22	滝 の 倉	1 1	9 9
23	梨 の 木	1 4	8 6
24	若 葉 東	1 3	8 6
25	小 泉	3 6	3 5 6
26	鉄 砲 町	1 3	1 4 9
	合 計	4 0 2	4, 0 7 8

(事業効果等)

地域の代表者とサロンの立ち上げに向けての協議や活動するために必要な支援を行なうことで、新たに2つの地区（小泉・鉄砲町）でサロンを立ち上げることができた。

◇地域ふれあいサロン交流会

サロン活動を活性化するため、他地区サロンとの交流や情報交換の場として、「地域ふれあいサロン交流会」を実施した。

日 時：令和元年10月31日（木）9時30分～11時30分

場 所：新庄市民プラザ 小ホール

参加人数：36名（13サロン）

内 容：1. ワナゲ体験  
2. 情報交換会

1.1. 福祉バス管理事業（市委託事業）

市の委託を受け、福祉バスの運行管理を行なった。

利用団体	件数	社協事業	件数
老人クラブ	8	地域活動組織育成支援事業 (地域ふれあいサロン事業)	17
障がい者団体等	8		
民生委員児童委員	12		
福祉関係団体	6		
高齢者団体(スポーツ)	2		
児童関係団体	9		
その他	7		
合計	52	合計	17

(事業効果等)

多くの福祉関係団体が安全に利用できるように、新庄市福祉バス運営要綱に基づき実施した。

### 1.2. 敬老会支援事業（市委託事業）

町内会等で開催される敬老会の行事に必要な経費の一部を助成した。

開催地区 14地区 参加者 766人

補助金額 539,037円

(事業効果等)

敬老会を支援することで、高齢者福祉の増進に寄与した。

### 1.3. 新庄市善意銀行事業

30,000円を限度に生活困窮者世帯に貸付を行なった。

			令和元年度	前年度	対前年比 (%)
現 年 度	払出	件数	0件	1件	0
		金額	0円	20,000円	0
	貸付	件数	9件	13件	69.23
		金額	168,000円	265,000円	63.4
	未償還	件数	4件	4件	100
		金額	76,000円	55,000円	138.18
全 体	未償還	件数	16件	20件	80
		金額	286,000円	372,000円	76.88

(事業効果等)

緊急的な支出を要したり、生活費が不足した相談者に対して貸付を行なうことで、セーフティネットとしての役割を果たした。生活困窮者の自立に向けた支援となるよう生活自立支援センターもがみと連携して相談対応を行なえた。

〈参考〉貸付年度別未償還件数

年 度	H20	H24	H25	H26	H27	H28	R1	合 計
件 数	1	1	2	1	1	6	4	16

※H29、H30年度は0件

### ◇フードバンクの提供

生活自立支援センター、行政等の関係機関と連携し、新庄市内の14世帯に食品を提供した。

### 1.4. 放課後児童健全育成事業（市委託事業）

市の委託を受け、市内4ヶ所の学童保育所を運営した。

中央学童保育所（堀端町） 日新放課後児童クラブ（松本）

北辰学童保育所（北辰小学校内） 萩野放課後児童クラブ（萩野学園内）

施設	対象学区	職員数	年間開所 日数	定員	利用児童数（名）			
					年間利用者数	年度当初	年度末	1日あたり 利用人数
中央	新庄・沼田	4名	285日	60名	10,840	59	53	38
日新	日新	6名	285日	80名	14,923	80	73	52
北辰	北辰	3名	285日	25名	4,495	22	19	15
萩野	萩野	3名	285日	40名	6,890	40	39	24

（事業効果等）

環境課より講師を迎え、新庄市防災マップを参照に災害時の避難場所の確認と対応方法等を学んだ。また、県内、市内の研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図った。

（課題等）

中央学童保育所と日新放課後児童クラブの建物が老朽化しているため、修繕が必要な場合は、子育て推進課に報告し、子ども達が安全に過ごせる環境整備に努めた。昨年に引き続き、職員の人材不足が課題である。

## 15. 連絡調整育成指導事業

下記の団体に補助金を交付した。

団体名	内容等	金額（円）
新庄市戦没者遺族会	戦没者遺族者活動事業への支援 (市補助金218,000円)	218,000
新庄市民生委員児童委員協議会	調査協力費の交付	56,000
新庄市更生保護女性会	青少年非行防止等事業への助成	43,000

がついている事業は共同募金の配分金で実施している事業です。

## 16. 企画・広報・情報事業（共同募金配分金事業）

（1）広報紙「社協だより」の発行

- ◇第39号 令和元年 7月発行 全戸配布
- ◇第40号 令和元年11月発行 全戸配布
- ◇第41号 令和2年 3月発行 全戸配布

（事業効果等）

社会福祉協議会の事業内容や福祉情報、地域福祉活動を幅広く掲載し、市民の地域福祉活動への関心をより高めるとともに、各種情報の提供を行なった。

（2）ホームページの運営

（事業効果等）

社会福祉協議会の事業や活動について、市民の皆様へ情報を提供し、広報の啓発を図ることができた。情報の更新については、遅れないように対応する。

### 17. 助成金事業（共同募金配分金事業）

下記の団体との協働を図り、その活動を援助するため負担金等の助成をした。

事業実施福祉団体	内 容 等	金額（円）
新庄市身体障害者福祉協会	障がい者スポーツ振興への助成	28,000
新庄市手をつなぐ育成会	レクリエーション大会参加等事業への支援	36,000
社会を明るくする運動推進委員会	少年犯罪・非行の防止、更生援助への支援	28,000

（事業効果等）各団体においての事業の推進を図った。

### 18. 社会福祉協議会表彰等事業（共同募金配分金事業）

(1) 社会福祉協議会表彰 令和2年3月5日（木）社会福祉協議会3階会議室

社会福祉事業に多大な貢献のあった個人・団体に対し、その功を称え表彰を行なった。

◇ 会長表彰受賞者 3名

《民生委員児童委員功労者》

今田 敏子

《一般社会福祉事業関係功労者》

奥山 紀子 （新寿会職員）

江口とし子 （身体障害者福祉協会役員）

◇ 会長感謝状 6名、3団体

《社会福祉事業協助・奉仕者》

阿部 憲子 武田 文子 松澤 愨 大山 悦子 黒田真理子 町田 宏

新庄建築大工組合 山形曹洞宗青年会最上支部寒修行会 新庄山草会

（敬称略・順不同）

（事業効果等）顕彰により更なる研鑽・貢献が期待できる。

(2) 敬老祝い品の贈呈

長寿の方々に会長の祝詞を添え、祝い品の贈呈を行いました。

白寿対象者 21名（男 5名 女 16名）

米寿対象者 268名（男 101名 女 167名）

（事業効果等）祝い品の贈呈により、長寿の方への尊敬・感謝の想いを示した。

### 19. 心配ごと相談事業（共同募金配分金事業）

◇ 弁護士相談 新庄ひまわり基金法律事務所 千葉剛志弁護士

毎月第3週木曜日（午後1時30分～午後4時）

◇ 一般相談 （社協職員対応）

平日（午前8時30分～午後5時15分）

相談内容	弁護士相談	相談内容	一般相談
借金・多重債務	8件	生 計	27件
離 婚	10件	高齢者・介護	4件
遺言・相続	11件	障 が い	4件
近隣トラブル	3件	除 雪	0件
財産・不動産	11件	ボランティア	0件

高齢・障がい	0 件	新型コロナ関連	8 件
労働	1 件	その他	11 件
消費者	2 件		
苦情	0 件		
その他	5 件		
合計	51 件	合計	54 件

(事業効果等)

弁護士相談は、法的な対応を要する問題の解決に向けての方向性を示し、適切なアドバイスを行なっていただいた。一般相談は、生活困窮や生活設計に関する相談が多く、福祉行政、生活自立支援センター・民生児童委員・山形県社協などの関係機関と連携して、相談者の自立に向けて迅速かつ包括的な支援を行なうことができた。

## 20. 援護事業（共同募金配分金事業）

災害被災者・交通遺児への支援

- ・市内の火災等の災害に遭われた世帯に対し、見舞金を支給した。
- ・市環境課のご協力をいただき、小学生から高校生までの交通遺児に激励金を支給した。

	対象世帯	金額 (円)
災害見舞金	3	60,000
交通遺児激励金	1	15,000

(事業効果等)

災害見舞金、交通遺児激励金を支給することにより、被災者を見舞い、遺児を激励し、生活支援と福祉の増進に寄与することができた。

## 21. 児童遊び場整備事業（共同募金配分金事業）

地域で管理している児童遊園の遊具の修繕費用や保全に必要な原材料の給付を行なった。

	申請地区数	総事業費 (円)	地元負担金 (円)	交付金額 (円)
遊具の修繕	2 地区	179,600	34,600	145,000
		あたご町、仁田山		
原材料支給等	12 地区	154,662	—	154,662
		升形下二・赤坂・清水・中川原・市野々・横根山・昭和三・往還・本宮一・福田・二枚橋・仁田山		

(事業効果等)

区長と連携し、子ども達が安全に遊べるよう地域の遊び場の保全に協力できた。

## 22. 高齢者健康対策振興事業（共同募金配分金事業）

第28回会長杯ワナゲ大会

令和元年9月4日(水)

新庄市体育館

	団体の部	個人の部	
		男子	女子
優勝	萩野宝寿会A	石山宣助 (末広町寿会A)	高橋良史子 (上茶屋町芽ぶきクラブ)
準優勝	上茶屋町芽ぶきクラブ	斉藤勝明 (萩野宝寿会A)	松田弘子 (木栄町クラブ)
第3位	上茶屋町茶遊会	押切守 (桧町桧和会)	斉藤敏江 (楽天会)

(敬称略)

(事業効果等)

高齢者の健康増進、いきがい・仲間づくりに貢献し、地域の繋がりや輪を広げることができた。市健康課の健康講話や軽体操、展示ブースによる健康推進、新庄警察署の特殊詐欺防止の取組みと連携し、山形新聞などのメディアを通じてワナゲ大会と新庄市社会福祉協議会を広く周知することができ、関係機関との連携が深まった。

### 23. 愛のひと声運動事業（共同募金配分金事業）

ひとり暮らしの高齢者を対象に、乳酸飲料を配りながら、声をかけることにより安否確認を行った。

配達日 毎週月・水・金曜日  
利用者 32名 延回数 3,542回

(事業効果等)

ヤクルト配達員やケアマネジャー等と連携し、見守りを行なうことができた。

### 24. 高齢者世帯等除雪支援事業（共同募金配分金事業）

※ 積雪が少なく、実施しなかった。

### 25. ボランティア活動推進事業（共同募金配分金事業）

- ・ボランティアセンターとして、情報提供や活動場所との調整を行なった。
- ・ボランティア活動保険の加入業務を行ない、ボランティア団体の把握に努めた。
- ・ボランティアに関する研修会を実施し、ボランティアの育成を行なった。

◇台風19号災害により開設された、「宮城県丸森町災害ボランティアセンター」運営に職員を派遣しました。

日時：令和元年11月10日（日）～14日（日） 職員1名派遣  
場所：宮城県丸森町災害ボランティアセンター

#### (1) 傾聴ボランティア講座

開催日時：令和2年3月13日（金）13時30分～15時30分  
場所：わくわく新庄研修室  
参加人数：28名

講 義：「傾聴ってなんだろう？」

講 師：産業カウンセラー 菖 浦 順 子 氏

・上記の内容で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。

## (2) 最北地域ボランティアの輪連絡会議

開催日時：令和元年11月19日(火) 9時～15時

場 所：村山大高根地区山の内(大石・赤岩)地区

参加人数：最北地域のボランティア及び社協職員 計31名

(東根市・村山市・大石田町・最上町・戸沢村・真室川町・尾花沢市・新庄市)

内 容

- ① 店を常設型のカフェにした例 視察
- ② 公民館での地蔵講をふれあいサロンにした例 視察
- ③ 介護予防体操体験

・最北地域で活躍しているボランティアの交流を図ることを目的に村山市社会福祉協議会主催の研修会に参加した。

## (3) ボランティア団体、個人、ボランティアとの協働

・理美容ボランティア「チョキボラ」の利用支援・ボランティアとの連絡調整

・傾聴ボランティア：新庄薬師園・エーデルワイス・ケアホームカナン・新寿荘のご協力により、話をする機会の少ない方を対象に傾聴を実施した。

実施場所(回数)：新庄薬師園(8回)、エーデルワイス(8回)、ケアホームカナン(7回)、新寿荘(7回)

ボランティア17名

・大工ボランティア：新庄建築大工組合のご協力により、低所得高齢者3世帯の老朽化した家屋の軽微な修繕を実施した。

## 26. 元気・ハツラツ予防体操事業(共同募金配分金事業)

高齢者の方々が生きがいを見つけ、いつまでも自分らしく健康で生活ができるよう、運動機能の向上を目的として介護予防体操を実施した。

開催日時・場所：①毎月第1金曜日 13時～14時 社会福祉協議会2階

②毎月第3金曜日 13時～14時 老人福祉センター第1会議室

参加人数：506名

実施回数：20回

講 師：公益社団法人山形県柔道整復師会

植木 俊和 氏 (植木整骨院)

早坂 耐希 氏 (早坂整骨院)

加藤 修 氏 (かとう整骨院)

(事業効果等)

継続的に参加することにより、顔見知りが増え、健康増進のほか生きがいづくりにも繋げることができた。

## 27. シニアタブレット教室(共同募金 地域福祉・在宅福祉事業配分)

シニア世代が趣味活動やコミュニケーションツールの活用を通して生きがいを創出し、生活

に役立つ情報を得られるようになることを目的にシニアタブレット教室を開催した。

日 時：①令和元年9月3、10、17、24日(全4回)  
②令和元年9月5、12、19、26日(全4回)  
9時30分～11時30分  
受講延人数：61名

## 【老人福祉センター運営事業】

### 1. 老人福祉センター施設管理事業

高齢者のふれあい、生きがいつくりの場として、より多くの方々にご利用いただけるよう運営に努めた。

第12回老人福祉センターまつり（ふれあいセンター）

実施日：令和元年10月11日（金）・12日（土）の2日間

※12日は、台風19号の影響により午前中のみ開催となる。

入場者数：300名

#### ◇避難訓練及び防火設備の点検

避難訓練や非常用ベル等の点検を実施し、利用者の安全確保に努めた。

#### (1) 老人福祉センター利用状況

		令和元年度	前年度	対前年比 (%)
開館日数		299 日	299 日	100
利用者	延べ人数	11,736 人	13,268 人	88.45
	団体数	1,315 団体	1,419 団体	92.67
	1日の平均利用者数	39.3 人	44.4 人	88.51

新型コロナウイルスの影響により、3月上旬より利用自粛の依頼をした。

#### (2) 文化教室別利用状況（社協主催事業 共同募金配分事業）

文化教室種類	令和元年度 (人)	前年度 (人)	対前年比 (%)
生け花教室	181	173	104.62
スポーツ吹矢教室	191	—	—
絵手紙教室	—	92	—
合計	372	265	140.38

スポーツ吹矢教室を新たに開始し、絵手紙教室は前年度で終了した。

#### (3) 季節の教室

昨年度に引き続き、四季折々の季節感を取り入れた講座を行なった。

##### ① 笹まきづくり講座

現在も作り継がれている笹まき（新庄巻）づくりを行なった。

実施日：令和元6月25日（火）13時～15時30分

参加者：16名

##### ② 陶芸講座

新庄東山焼の作品を、夏休み中のお孫さんと一緒に作る教室を実施した。

実施日：令和元年7月31日（水）10時～12時

参加者：13名（大人12名、子供1名）

### ③しめ飾り講座

新年を迎えるに当たり、手づくりのしめ飾りを作成した。

実施日：令和元年12月18日（水）10時00分～11時30分

参加者：15名

## （4）カラオケルーム利用状況

通信カラオケを導入し、最新の曲が提供できる環境のため、利用者には好評である。

	令和元年度	前年度	対前年比（%）
利用件数	354 件	348 件	101.72
利用人数	1,970 人	2,265 人	86.98

### （事業効果等）

平成28年度に北側の駐車場を整備したが、市保健センターで使用する時は使用できず、月の半分は使えない状態である。老人福祉センターの利用者からは以前から駐車場が少ないことで多くの相談が寄せられており、駐車場の整備に関する要望の署名活動を実施し、1,031名の署名を取りまとめ市に提出した。行政と協議しながら駐車場整備について改善していく。

## 【共同募金事業】

山形県共同募金会新庄市共同募金委員会と連携し、区長をはじめ多くの市民・団体等のご協力を得て募金活動を推進した。

### 1. 赤い羽根共同募金

〈募金内訳〉

	令和元年度（円）	前年度（円）	対前年比（%）
戸別募金（町内）	3,891,250	3,932,400	98.95
企業募金 （会社・商店524、個人3）	1,848,985	1,888,896	97.89
街頭募金（10団体）	115,240	158,968	72.49
学校募金（市内14校）	124,963	143,627	87.01
職場募金（13事業所）	54,882	63,091	86.99
篤志募金（市民有志等）	110,281	130,330	84.62
合計	6,145,601	6,317,312	97.28

※企業募金にご協力いただいた会社・商店については、令和2年3月発行の「社協だより」第41号に掲載した。

〈配分内容〉

配分先	すぎのこハウス、福祉サポートセンター山形、金沢学童クラブ、新庄市社会福祉協議会
-----	-----------------------------------------

配分事業	老人福祉センター文化教室、愛のひと声運動事業、高齢者世帯除雪支援事業、助成金事業、児童遊び場整備事業、社会福祉協議会会長表彰、白寿・米寿祝い品贈呈、心配ごと相談事業、援護事業、ボランティア活動推進事業、ワナゲ大会の開催、広報紙の発行、ホームページの運営、元気ハツラツ予防体操、シニアタブレット教室事業等
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(事業効果等) 募金の配分金を福祉施設の整備や地域福祉事業に活用し、地域への還元を図った。  
 〈参考〉

街頭募金協力団体	日新区婦人会、沼田学区婦人会、新庄市身体障害者福祉協会、新庄市更生保護女性会、山形県社会福祉士会最上支部、新庄市交通安全母の会、新庄中学校、明倫中学校、あじさいウォーキング、はぐくみ保育園
街頭募金活動場所 活動場所提供協力	ヨークベニマル新庄店、ヨークベニマル新庄市下田店、ヤマザワ新庄店、ヤマザワ新庄宮内店、マックスバリュ新庄店、ビッグフレック新庄店、郷野目ストア桧町店、新庄徳洲会病院
学校募金協力校	新庄小学校、沼田小学校、日新小学校、北辰小学校、升形小学校、本合海小学校、萩野学園、新庄中学校、日新中学校、新庄北高等学校、新庄南高等学校、新庄東高等学校、新庄養護学校
職場募金 (募金協力)	新庄市役所、新庄市体育協会、最上広域市町村圏事務組合、新庄商工会議所、新庄最上地域シルバー人材センター
職場募金 (募金箱設置協力)	新庄市役所市民相談室、もがみ物産館、マックスバリュ新庄店、よつば調剤薬局、セブンイレブン新庄新町店、産直まゆの郷、新庄市身体障害者福祉協会(県立病院売店、合同庁舎売店)、新庄市老人福祉センター、新庄市社会福祉協議会
篤志募金	石山宣助、門脇茂、鈴木幹男、奥山仁兵衛、みどりの会、ワナゲ大会会場、外匿名6名

(順不同・敬称略)

## 2. 歳末たすけあい募金

### (1) 募金活動

〈募金内訳〉

	令和元年度(円)	前年度(円)	対前年比(%)
戸別募金(町内)	1,947,350	1,964,100	99.15
篤志募金(市民有志等)	10,347	15,446	66.99
合計	1,957,697	1,979,546	98.90

篤志募金協力：大手幼稚園 (敬称略)

### (2) 歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として、市民の皆様からお預かりした歳末たすけあい募金について、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人達が安心して暮らせるよう配分委員会を開催し、効果的に配分した。

〈配分内訳〉

世帯区分	対象世帯数(世帯)	配分金額(円)
準生活保護世帯	7	105,000
母子・父子世帯	26	390,000
一人暮らし高齢者世帯	47	705,000
高齢者夫婦世帯	6	90,000
障がい者世帯	4	60,000

その他困窮世帯	3	45,000
合計	93	1,395,000

・配分額 現金15,000円×93世帯=1,395,000円

白米：600Kg (60袋)

・地域福祉活動費として504,701円 新庄市共同募金委員会事務費として58,000円

(事業効果等)

配分金は民生委員児童委員や関係機関と協力を得て、効率的に調査・配分することができた。

白米は、谷地小屋の故太田進氏のご遺族である太田義次氏より寄贈していただいた。

## 【介護等支援事業】

### 1. 介護支援事業 (もみの木介護支援事業所) 介護支援専門員 5名

利用者や家族の相談に応じ、医療機関や他事業所との連携を図りながら、効果的なケアプランの作成と利用者の利便性向上に努めた。

		令和元年度	前年度	対前年比 (%)
要介護 要介護1~2 ※14,530円 要介護3~5 ※17,680円	件数	1,680件	1,674件	100.36
	収入	26,256,860円	26,083,610円	100.66
要支援・事業対象 〔3,870円〕	件数	255件	270件	94.44
	収入	1,023,260	1,271,250円	80.49
要介護 認定調査	件数	142件	135件	105.19
	収入	464,220	430,920円	107.73
合計	件数	2,077	2,079件	99.9
	収入	27,744,340	27,785,780円	99.85

※ 特定事業所加算 月4,000円込み

(課題等)

新規ケース、死亡や施設の入所等の利用者の推移は例年通りとなっている。

近年、在宅で末期がんや終末期の高齢者の看取りが多くなっているため、最期まで住み慣れた自宅で過ごせるように支援した。引き続き、様々な生活問題を抱える困難ケースの積極的な対応を行い、安心して在宅生活ができるように支援する。

### 2. 訪問介護事業 (もみの木訪問介護事業所) 介護福祉士 8名

ホームヘルパー2級 14名

(令和元年3月31日現在)

利用者の状況を把握し、利用者の必要な支援は何なのかを見極め、関係機関との連携をとりながら支援に努めた。

		令和元年度	前年度	対前年比 (%)
訪問介護	件数	700件	775件	90.32

事業	収入	35,456,740円	40,227,102円	88.14
障害者自立 支援事業	件数	71件	92件	77.17
	収入	8,878,780円	8,302,450円	106.94
ひまわり介護 サービス事業 〔福祉有償運送 含む〕	件数	67件	71件	94.37
	収入	286,520円	301,250円	95.11
合計	件数	838件	938件	89.34
	収入	44,592,594円	48,830,802円	91.32

(課題等)

- ・令和元年度は入所者の増加、家族の介護に対する意識の変化により大幅な減収となった。
- ・障害者自立支援事業は利用者の体調不良等により訪問が増えて増収となった。
- ・研修や月例会を充実させて介護員の資質向上、健康管理に努める。
- ・全国的に介護職は離職率が高く人材確保が難しい状況であるが、当会においても人材確保が課題である。人材を確保するため、ハローワーク・山形県福祉人材センター・社協広報紙を通じて、介護職員の募集を継続する。
- ・福祉有償運送サービス事業については、令和元年度の利用実績は利用者1名の年間2回のみであり、その利用者も施設入所したため、今後の利用は見込めない。

## 【地域包括支援センター運営事業】

### 1. 地域包括支援センター事業

主任介護支援専門員 3名 ・ 保健師 2名  
 社会福祉士 2名 ・ 認知症地域支援推進員 1名  
 生活支援コーディネーター 1名 ・  
 事務補助員 1名

		令和元年度	平成30年度	対前年比 (%)
相談事業	総合相談	7,829件	8,339件	93.88
	内介護相談	2,831件	2,864件	98.85

#### ①認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る認知症サポーターを養成した。

場 所：ゆめりあ会議室(1回)、新庄市図書館(1回)

開催回数：2回

サポーター養成人数：32名

#### ②オレンジカフェ（認知症カフェ）

気軽な雰囲気の中で認知症について学んだり、認知症を話題に交流できる場所であるオレンジカフェを開催した。

場 所：ひと休み いっぷく

開催回数：13回

参加人数：214名

### ③いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操

高齢者の社会参加と健康寿命延伸を目的として、いきいき百歳体操（筋力運動）やかみかみ百歳体操（口腔体操）を取り入れた週1回以上の通いの場の支援をしました。

No.	開催場所	開催日(曜日)	開催回数(回)	参加延べ人数(名)
1	老人福祉センター	毎週 月・木	101	1,829
2	新庄市体育館	毎週 月・木	90	863
3	上茶屋町公民館	毎週 水	46	416
4	グループホーム大手町	毎週 水	27	(施設利用者含む) 232
計			264	3,340

### ④介護支援専門員資質向上連絡会の開催

介護支援専門員同士の実践力向上やネットワーク構築のための研修会、情報交換会、事例検討会を開催した。

場 所：新庄市社協3階会議室

開催回数：10回

参加延人数：介護支援専門員236名

### ⑤自立支援型新庄市地域ケア会議の開催

多くの専門職が協働し、個別ケースの課題や支援内容を検討し、高齢者の課題解決を支援しました。また、外部助言者からの専門的な助言を受け、ケアマネジャーの自立支援につながるケアマネジメントの実践力向上を図った。

開催日程：毎月第3水曜日

検討ケース：27ケース

参加メンバー：新庄市、地域包括支援センター、社会福祉協議会事務局、居宅介護支援事業所、サービス提供事業所、外部助言者

### (事業効果等)

地域包括支援センターの三職種（社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員）が各専門性を活かし、適切な相談対応ができた。自立支援型地域ケア会議を毎月開催し、ケアマネジャーの自立支援の理念の再確認とケアマネジメント力の向上が図られた。

また、介護支援専門員資質向上連絡会を毎月開催し、研修会や情報共有等を通して、ケアマネジャーの資質向上、顔の見える関係づくりが図られた。認知症地域支援推進事業では、認知症の方やその家族への支援を実施し、医療機関との連携が図られました。オレンジカフェの参加者も増加した。

## 2. 介護予防支援事業（もみの木介護予防支援事業所）

介護予防ケアマネジメント	令和元年度	前年度	対前年比(%)
総件数	4,618件	4,517件	102.24
内センター作成分	1,582件	1,701件	93
委託件数	3,036件	2,816件	107.81
収入金額	19,298,910円	19,895,800円	97
委託費支出金額	12,332,310円	11,169,810円	110.41

(事業効果等)

新庄市における高齢化率の上昇に伴い、介護予防サービスの利用者が増加する傾向にありますが、要介護状態にならないよう、状態が悪化しないよう適切な介護予防ケアマネジメントを実施することができた。また、介護予防プランの委託については、利用者の自立支援に資するケアプランが適正に作成されるよう各事業所へプラン作成の指導を行なうことができた。